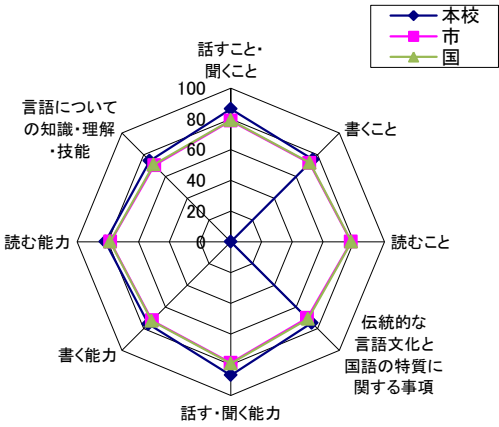


宇都宮市立峰小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

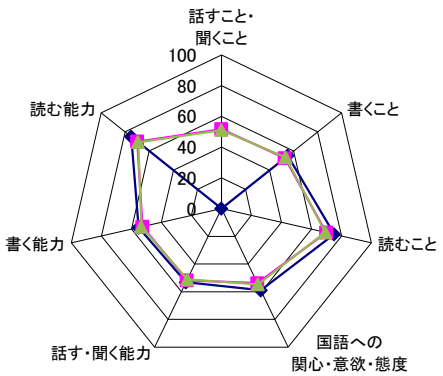
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	86.5	78.8	79.2
	書くこと	75.7	72.4	72.8
	読むこと	81.6	78.3	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.6	70.3	71.1
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	86.8	78.8	79.2
	書く能力	75.7	72.4	72.8
	読む能力	81.6	78.3	78.5
	言語についての知識・理解・技能	74.6	70.3	71.1



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	53.2	51.7	51.1
	書くこと	55.2	52.7	53.4
	読むこと	75.1	69.9	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	59.0	53.8	54.7
	話す・聞く能力	53.2	51.7	51.1
	書く能力	55.2	52.7	53.4
	読む能力	75.1	69.9	69.3
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○A・Bともに市・全国平均を上回っている。国語に限らず学校課題「コミュニケーション能力の育成」を意識して、「話すこと・聞くこと」を授業で指導した成果と思われる。 ●「話すこと」では、多くの児童が発言できるようになってきたが、一部自信がない児童もいる。「聞くこと」には重点を置いて指導してきた成果が見られるが、一部、話を聞けない児童もいる。	・誰もが自信をもって発言できる発問や環境づくりを工夫する。 ・「聞く」指導のさらなる徹底を図る。
書くこと	○A・Bともに市・全国平均を上回っている。自分の考えなどを「ノートに書くこと」を指導してきた成果と思われる。 ●「書くこと」に抵抗をもつ児童もいる。個人差へどのように対応するかが課題である。	・国語科を中心に、「ノート指導」の徹底を図る。 ・ミニ作文や日記などを通して、「書く」ことの抵抗感を取り除く。
読むこと	○A・Bともに市・全国平均を上回っている。内容理解のために音読を繰り返し行ったり、叙述に即して読むことを指導したりした成果と思われる。 ●叙述から離れて、思い込みで内容を解釈してしまう児童も見られる。	・毎日の音読指導を徹底する。 ・文学的文章において、「叙述に即して読む」ことを意識的に指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○A・Bともに市・全国平均を上回っている。百人一首・詩文の暗唱などを意図的に国語や会話科で扱ってきた成果と思われる。 ●漢字の書き取りは、指導の成果が見られるものの、個人差がある。	・百人一首、詩文の暗唱等を継続し、文語調の響きやリズムに慣れ親しませる。 ・効果があった漢字指導を教職員で共有し、実践する。また、小テストやステップアップシートを活用し、練習機会を増やすようにする。